

令和 6年 1月 25日

各 位

株式会社 神戸マツダ
代表取締役社長 橋本 寛

当社における DX 推進の取り組みについて

1. はじめに

当社では、環境変化に柔軟に対応し、お客様がより満足されるサービスを提供するための成長戦略として、令和5年7月にDX戦略を策定しました。今回、DX推進施策の実施計画が決定しましたので、ご報告いたします。

2. DX 推進施策の実施計画について

当社DX戦略を達成するため、以下3つの施策を計画し実施しております。

(1) デジタイゼーションの推進とデジタライゼーションの検討 【時期:~令和7年度】

手作業で行っている業務をRPAによる自動化によりペーパーレス化とデータ化を両立することにより業務の効率化を行い、生産性を向上させます。

又、コミュニケーションツールの導入による効率向上と多様な働き方の実現として、業務情報の共有を行います。

(2) BCP対策の推進 【時期:令和5年度】

・従業員への災害一斉通知、従業員からの災害報告、連絡有無の確認システムをPythonで作成し、LINE WORKSと連携した安否確認システムの作成と運用の開始

又、各種災害時に備え、神戸西インター店を第二本社と設定しデジタル環境を整備

(3) レガシーシステムの撤廃 【時期: ~令和7年度】

業務プロセス改善とサービスの変革を実現する新しいWEBベースのKPIモニターシステムとその他システムをオープン系で再構築し、レガシー化した旧システムからの脱却を図ります。これによりデータのスムーズな連携とデータ利活用を可能にします。

3. 具体的な取り組み

DX 推進施策の実行にあたり、以下の取り組みを始めています。

(1) デジタル化とデータ活用による業務プロセスの改善とサービスの変革

各種事業毎の別システム間データ連携するPHP/Python を使用したRPAシステムを作成、2重入力業務の廃止、後続データ入力業務の自動化を順次実施。

又、コミュニケーション活性化としてスマートフォンの全社員貸与を通じ、LINE WORKS 導入による社内外コミュニケーションのデジタル化を実施。

その他実施内容として、

- ・ノートパソコンへの切替による場所を選ばない作業実現と効率の改善
- ・タブレット端末導入（全店導入）によるお客様とのコミュニケーション強化
- ・スマートフォンの全社員貸与を通じ、LINE WORKS 導入による社内外コミュニケーションのデジタル化
- ・オンライン会議（ZOOM）実施による業務効率化
- ・顧客情報を活用したデジタルマーケティングの推進
- ・社内作成システムの顧客（法人・個人）への提供の開始
- ・メタバースの導入検討（お客様同士が繋がるマルチサイド型プラットフォームの検討）

(2) HRテクノロジーによる人材活用

最適なタレントマネジメント実現のため、HRパッケージを導入しております。社員情報の一元化を行い、経営戦略に沿った人事施策にデータ活用してまいります。

- ・人事、勤怠、労務、給与パッケージ導入によるデータ整理とデータ利活用

(3) DX 推進を目的とするプロジェクトチームの発足

DX 推進施策を具体的に検討、実行するためのプロジェクトチームを発足し、平成29年9月1日より活動を開始しました。本チームは管理職、IT 担当者など計5名で構成されており、デジタル化とデータ活用の促進を目的としたデジタイゼーション、デジタルライゼーションを重点課題として取り組んでまいります。

- ・5名の内4名はITスキルを持った人材を中途採用により、社外から招致

4. 達成度の評価指標について

DX 推進施策の実施計画に基づく実績評価を毎月定期的実施します。また、各施策の効果につきまは「業務削減時間」、「各カンパニーの個人生産性」を評価指標として効果を測定します。